本物が本物を選ぶ。

奥尻島出身 プロ野球球団ピッチングコーチ

佐藤 義則

×

札幌市出身 ラジオパーソナリティ

牧　泰昌

アートラスに魅せられる。

A⇒TRUSS(ah-truss) is manufactured from quality ingredients by using pure cultured method and advanced technology by engineer's teamwork.
A⇒TRUSS has excellent richness, truly safe construction and certain guarantee of quality.
All year round you can enjoy the great photovoltaics of A⇒TRUSS.
businessperson of K.Sugimoto

信頼のブランド架台

A⇨トラス®
アートラス

〈オビーディエント工法〉
商標登録 実用新案登録

A⇨トラス（アートラス）とは施工する屋根面に
穴を開けない
住環境を考慮した安心・安全の
太陽光パネル架台です。

http://www.onoden.net/solar/index.php オノデン株式会社 検索
小野寺省吾 検索

オビーディエント工法とは
屋根面に一切穴を開けずに、パラペット部（建物側面頂部）を補強し基礎に見立て架台ベースプレートをのせます。
この方式により雨漏りの心配が無く、風に対しても考慮された構造で家屋の揺れがありません。

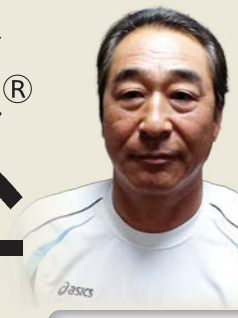
安心・安全な
メーカー
10年保証

住宅用太陽光発電
導入支援対策費
補助金対象

信頼のブランド架台

A⇨トラス®

アートラス



選ばれるのには
理由がある。

奥尻島出身
プロ野球球団ピッチングコーチ
佐藤 義則

これからの
北海道を支える
ブランド架台です。

札幌市出身
ラジオパーソナリティ
牧 泰昌

A⇨トラス（アートラス）は法令に基づく実験により雪と風への安全性が確認されました。

積雪150cmの地域でも設置可能

風速36m/秒でも安全

架台の保証期間 無償修理10年
※メーカー製品および推奨品で構成されたシステムに限り、メーカー研修に合格した指定の施工店（施工 ID 取得業者）が設置したもの

A⇨トラス（アートラス） 画期的な5つのポイント！

1 施工する屋根面に穴を開けない工法だから！雨漏りしない
大事な家屋を痛めることがありません。

2 屋根の貼り替え時にも太陽光の取外しが不要
屋根の修復・修繕を行う際にも手間がかからず安心です。

3 風の流れを計算しつくした架台設計だから！揺れない
架台も太陽光パネルも揺れません。

4 雪が積もりにくいから冬期も発電効率が良い
雪に埋もれないように嵩上げ滑雪しやすい角度で設置します。

5 住宅のどの工法にも施工が可能
新築はもちろん、既存の住宅にも施工できます。
※建物の強度不足などで施工が不可能な場合もございます。

北海道の自然エネルギーのこと聞いてみませんか？

選べる設置パネル

A⇒トラス（アートラス）架台は、下記各社が認定した架台です。
お客様のご希望のモジュールに幅広く対応する太陽光パネル架台です。

Panasonic ideas for life / SOLAR FRONTIER 昭和シェル石油グループ / HITACHI Inspire the Next / HONDA The Power of Dreams

JIA 建築家大会 2013 北海道公式プログラム

「北方圏での環境建築デザインと環境技術紹介」

ジョイントセミナー

参加無料
事前予約
不要

2013年9月6日(金)

時間／9:30 ～ 12:00　定員／130 名(先着順)
会場／札幌市教育文化会館 301研修室［札幌市中央区北1条西13丁目］

北方圏とは、一般的には北緯 40 度以北の地域で、北海道・ロシア・カナダ・アラスカ・北欧・グリンランド・アイスランド等の亜寒帯及び冷温帯の一部を包含しています。この北方圏では気候・風土・文化の類似点が多く、暖房としての化石エネルギー使用量も多いことが特徴的です。地球温暖化防止の為には、都市・建築の性能向上とともに再生可能エネルギーを利用した“環境建築デザイン”が期待されています。日本の北方圏地域である北海道でも、地域ポテンシャルを最大限生かした住まい方が求められます。

主旨説明　9:30 ～ 9:50

北方圏での環境建築デザインと再生可能エネルギー利用

大野 二郎　(株)日本設計 環境創造マネジメントセンター（CEDEMa）シニアアドバイザー
/JIA 環境行動ラボ副委員長 / 建築学会サステナブル都市・建築デザイン小委員会主査
/ 日本太陽エネルギー学会理事 環境建築デザインを実践

講演Ⅰ（JIA）　9:50 ～ 10:50

①「森林を背景とした下川町の取り組み」

相馬 秀二　(財)下川町ふるさと開発振興公社 クラスター推進部部長
地域資源を活用した産業の創造、地域経済の活性化を目指した取り組みを行っている。

②「自然エネルギー利用とパッシブデザインの実践」

照井 康穂　照井康穂建築設計事務所
北海道大学卒業、竹中工務店、アーブ建築研究所を経て独立。
建築学会作品選賞、JIA 北海道住宅新人賞北海道事務所協会賞受賞

③「亜寒帯のシェルター」

加藤 誠　アトリエブンク
北海道大学終了、工学博士、北海道建築奨励賞、建築学会作品選賞
受賞北海道建築賞受賞 北海学園大学北海道工業大学非常勤講師

講演Ⅱ（JSES）　10:55 ～ 11:55

④「太陽熱と地中熱を導入した北方圏技術について」

峯 考弐　(株)大阪テクノクラート代表取締役
分散エネルギー供給としての太陽熱利用システムの業界第一人者、特に集合住宅での相互エネルギー有効利用のパイオニア

⑤「北方圏における太陽光発電住宅」

小野寺 省吾　オノデン(株)代表取締役
太陽光発電システム取り組み 20 年、無落雪屋根用太陽光発電架台アートラスを開発。太陽光発電住宅の普及に勤める

⑥「メガソーラーの状況について」

野村 卓司　(株)カネカ生産技術本部上席幹部
九州工業大学修士終了、電気・化学メーカー等多様な研究に従事、自称「さまよえる技術屋」

問合せ：公益社団法人 日本建築家協会（JIA 事務局 ）　担当：北沢　住所：150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18JIA 館
主催：(社)日本建築家協会 (JIA) 環境行動ラボ+(社) 日本太陽エネルギー学会 (JSES) 北方圏技術部会

※北海道電機商業組合札幌中央支部／特定非営利活動法人北海道新エネルギー普及促進協会 推奨

ほくでん 省エネ 推進協力店

省エネルギーの オノデン株式会社

●パナソニック PV 施工店
●ソーラーフロンティア正規代理店
●日立認定店
●ホンダソルテック認定施工店

住所 〒060-0013 札幌市中央区北13条西19丁目 37-67
TEL (0120) 99-8013（晴れ一番さん）　E-mail info@onoden.net
オノデン株式会社　検索

ただ今、建築士・電気工事士募集中！ 詳しくはお電話にてお問合せ下さい。TEL.011−611−2226

「北方圏での環境建築デザインと環境技術紹介」ジョイントセミナー

日時：2013 年 9 月 6 日（金）9:30～12:00　/　定員 130 名（先着順）　札幌市教育文化会館　301 研修室

北方圏とは、一般的には北緯 40 度以北の地域で、北海道・ロシア・カナダ・アラスカ・北欧・グリンランド・アイスランド等の亜寒帯及び冷温帯の一部を包含しています。この北方圏では気候・風土・文化の類似点が多く、暖房としての化石エネルギー使用量も多いことが特徴的です。地球温暖化防止の為には、都市・建築の性能向上とともに再生可能エネルギーを利用した“環境建築デザイン”が期待されています。日本の北方圏地域である北海道でも、地域ポテンシャルを最大限生かした住まい方が求められます。

主催：（社）日本建築家協会(JIA)環境ラボ＋(社)日本太陽エネルギー学会(JSES)北方圏技術部会

問合せ：公益社団法人 日本建築家協会（JIA 事務局 ）
担当：北沢(mail:skitazawa@jia.or.jp)
150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18JIA 館

主旨説明　「北方圏での環境建築デザインと再生可能エネルギー利用」　9:30～9:50

大野二郎

（株）日本設計 環境創造マネジメントセンター(CEDEMa)シニアアドバイザー

/JIA 環境行動ラボ副委員長 /建築学会サステナブル都市・建築デザイン小委員会主査 /日本太陽エネルギー学会理事　環境建築デザインを実践

講演Ⅰ（JIA）　9:50～10:50

①「森林を背景とした下川町の取り組み」

相馬秀二

（一財）下川町ふるさと開発振興公社クラスター推進部部長

地域資源を活用した産業の創造、地域経済の活性化を目指した取り組みを行っている。

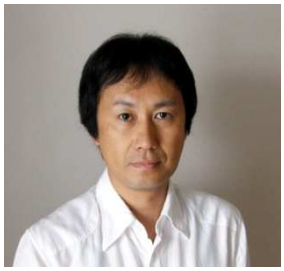
②「自然エネルギー利用とパッシブデザインの実践」

照井康穂

照井康穂建築設計事務所

北海道大学卒業、竹中工務店、アーブ建築研究所を経て独立。建築学会作品選賞、JIA 北海道住宅新人賞北海道事務所協会賞受賞

③「亜寒帯のシェルター」



加藤　誠

アトリエブンク

北海道大学終了、工学博士、北海道建築奨励賞、建築学会作品選賞受賞北海道建築賞受賞　北海学園大学北海道工業大学非常勤講師

講演Ⅱ（JSES）　10:55～11:55

④「太陽熱と地中熱を導入した北方圏技術について」

峯　考弐

（株）大阪テクノクラート代表取締役

分散エネルギー供給としての太陽熱利用システムの業界第一人者、特に集合住宅での相互エネルギー有効利用のパイオニア

⑤「北方圏における太陽光発電住宅」

小野寺省吾

オノデン（株）代表取締役

太陽光発電システム取り組み 20 年、無落雪屋根用太陽光発電架台アートラスを開発。太陽光発電住宅の普及に勤める

⑥「メガソーラーの状況について」

野村卓司

（株）カネカ生産技術本部上席幹部

九州工業大学修士終了、電気・化学メーカー等多様な研究に従事、自称「さまよえる技術屋」

「北方圏での環境建築デザインと環境技術の紹介」（ジョイントセミナー）

会員＋一般（日本太陽エネルギー学会会員を含む）

日時　　9/6（金）　9：00～12：00(開場9:00,開演9:30)

場所　　札幌市教育文化会館　301会議室（135席）
主催　　(社)日本建築家協会(JIA)環境行動ラボ
　　＋(社)日本太陽エネルギー学会（JSES）北方圏技術部会

詳細情報
　北方圏とは、一般的には北緯40度以北の地域で、北海道・ロシア・カナダ・アラスカ・北欧・グリーンランド・アイスランド等の亜寒帯及び冷温帯の一部を包含しています。北方圏に共通な指標として“暖かさの指標{温量指数Warmth Index(WI)}45以下”があります。温量指数WIは植物の分布帯と気温の分布域との関係を示す指標で、１年12ヶ月の各月の平均気温から５℃を引いた値を年間合計したもので、WI＝nΣ(t-5)（※nはt>5℃の月の数）で表すことが出来ます。この北方圏では気候・風土・文化のの類似点が多く、暖房としての化石エネルギー使用量も多いことも特徴的です。地球温暖化防止の為は、都市・建築の性能向上とともに再生可能エネルギー利用を利用した“環境建築デザイン”が期待されています。日本の北方圏地域である北海道でも、地域ポテンシャルを最大限生かした住まい方が求められます。今回のセミナーは（社）日本建築家協会（JIA）環境ラボ＋(社)日本太陽エネルギー学会北方圏技術部会のジョイントセミナーとして企画しました。

主旨説明		「北方圏での環境建築デザインと再生可能エネルギー利用」 大野二郎（JIA環境ラボ副委員長/日本設計）	9:30～ 9:50
講演1(JIA)	①	「森林を背景とした下川町の取り組み」 相馬秀二（下川町ふるさと振興公社）	9:50～10:10
	②	「自然エネルギー利用とパッシブデザインの実践」 照井康穂（照井康穂建築設計事務所）	10:10～10:30
	③	「亜寒帯のシェルター」 加藤誠　（アトリエブンク）	10:30～10:50
（休憩）（5分）			
講演2(JSES)	④	「太陽熱と地中熱を導入した北方圏技術について」 峯　考弐　{(株)大阪テクノクラート代表取締役}	10:55～11:15
	⑤	「北方圏における太陽光発電住宅」 小野寺省吾　{オノデン(株)代表取締役}	11:15～11:35
	⑥	「メガソーラーの状況について」 野村卓司　　{(株)カネカ生産技術本部上席幹部}	11:35～11:55
まとめ			11:55～12:00

【参加登録】
JIA会員は大会参加登録（有償）が必要です。
JIA会員以外の方は入場無料、事前申し込みも不要です。当日会場にお越し下さい。